

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員の C N、G X、生物多様性、D X などの取組事例

実施主体	株式会社 長瀬土建			
区分	C N (カーボンニュートラル) 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。	G X (グリーン転換フォーメーション) 化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素化社会を構築しようとする取り組み	N P (ネイチャーポジティブ、生物多様性) 生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標	D X (デジタル転換フォーメーション) データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。
	○	○		
取組名称	環境性能の高い車両・重機類の導入や環境負荷低減への意識向上の取り組み			
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・営業車等 . . . ハイブリッド型車両、軽自動車等の導入 ・重機等 . . . 超低燃費型油圧ショベルの導入、排ガス対策型重機・ダンプの導入 尿素SCRシステムによる排ガスクリーン化 ・その他 . . . アイドリングストップ、車両・重機など点検、整備の充実 CO2フリー電気への切り替え、LED照明への変更、ペレットストーブの導入 工事現場等における周知活動 			
経費	---			
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出量の削減 ・社員の意識向上を図る。 ・会社のブランディング力強化を図る 			
課題	目標達成（42%削減）に向けた取り組みの持続 経営が上向く（受注工事の規模や件数が増える）と二酸化炭素排出量が増加し対策を強化する必要があること			
備考欄				

写真①

弊社の取り組み一例

- ・社用車のハイブリッド型車両導入
- ・排出ガス対策型重機の導入及び工事現場における周知
- ・ダンプのリトレッドタイヤ装着
- ・ペレットストーブ導入